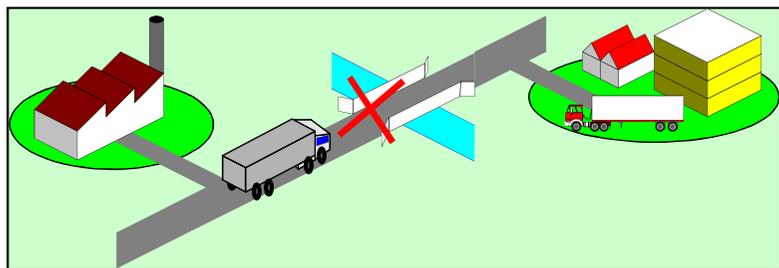


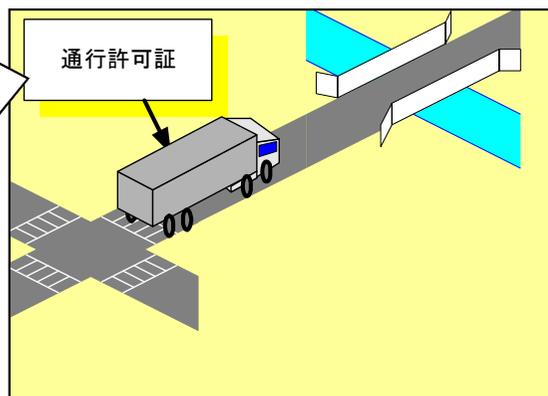
特殊車両通行許可制度の概要

道路は、一定の規格の車両が安全・円滑に通行できるように造られており、この規格を超える車両は、道路構造又は交通に支障を及ぼすおそれがあるため、原則として道路を通行することはできない。(道路法第47条第1項、第2項、車両制限令第3条第1項)



ただし、車両の構造又は車両に積載する貨物を審査し、やむを得ないと道路管理者が認める場合に限り、道路の構造を保全し又は交通の危険を防止するため必要な条件を附して、車両の通行を許可する「特殊車両通行許可制度」が設けられている。(道路法第47条の2)

通行時間帯を指定して交通量の少ない夜間通行、橋・高架などを通行時の徐行、連行の禁止、誘導車の配置を条件とするなど、衝撃を少なくしたり、他車を排除したりして、重量による影響が耐荷力以下となるような条件を付けて許可します。

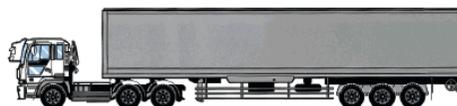


車両制限令第3条第1項に基づく車両の一般的制限値(上限値)



特殊車両の例

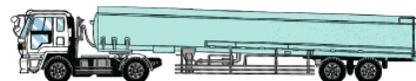
【バン型】



【国際海上コンテナ用】



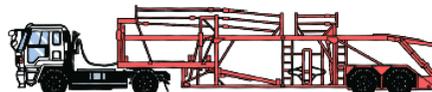
【タンク型】



【重量物運搬用】



【自動車運搬用】



【トラック・クレーン】

